

内水浸水想定区域図に関する Q&A

用語の定義

- Q1 内水浸水想定区域図とは 1
- Q2 雨水出水浸水想定区域図とは 1
- Q3 内水ハザードマップとは 1
- Q4 想定最大規模降雨とは 1
- Q5 内水氾濫発生メカニズムは 1

内水浸水想定区域図の作成

- Q6 地形データは（いつ時点、何のデータか） 2
- Q7 想定最大規模降雨の設定は 2
- Q8 対象区域は 3
- Q9 モデル化の対象は 3
- Q10 河川からの溢れは 3
- Q11 浸水ランクの色分けは 3
- Q12 浸水継続時間の表示 3
- Q13 浸水継続時間で 72 時間以上浸水する着色箇所は、
72 時間以上浸水するのか 4
- Q14 内水浸水想定区域図は更新するのか 4

用語の定義

Q1 内水浸水想定区域図とは

下水道の排水能力を上回り下水道に雨水が排除できなくなった場合又は放流先の河川の水が水位上昇等に伴い下水道から河川等に雨水を排除できなくなった場合に浸水が想定される区域の総称です。内水氾濫が発生した場合に浸水が想定される「区域」「浸水深」を表示した図面です。

Q2 雨水出水浸水想定区域図とは

想定最大規模降雨に対する内水浸水想定区域図と言います。
水防法第 14 条の 2 に規定される、想定最大規模降雨により公共下水道等の排水施設の排水能力を上回り公共下水道等の排水施設に雨水を排除できなくなった場合又は放流先の河川の水が水位上昇等に伴い公共下水道等の排水施設から河川等に雨水を排除できなくなった場合に浸水が想定される区域となります。

Q3 内水ハザードマップとは

内水浸水想定区域図を基に、内水による浸水情報と避難方法等に係る情報を市民にわかりやすく示した図面です。市民の皆様に日頃からの備えや大雨時の適切は避難行動をとっていただくために作成しました。

Q4 想定最大規模降雨とは

水防法第 14 条第 1 項に規定する想定し得る最大規模の降雨であって国土交通大臣が定める基準（平成 27 年 7 月 19 日国土交通省告示第 869 号）に該当するものであり、雨水出水浸水想定区域図の前提とする降雨を言います。

Q5 内水氾濫発生メカニズムは

一時的に大量の降雨が生じた場合において、下水道その他の排水施設に当該雨水を排除できないこと又は下水道その他の排水施設から河川その他の公共の水域若しくは海域に当該雨水を排除できないことによって発生します。

河川の水が溢れたり、堤防が決壊して起こる災害（外水氾濫）とは異なります。

内水浸水想定区域図の作成

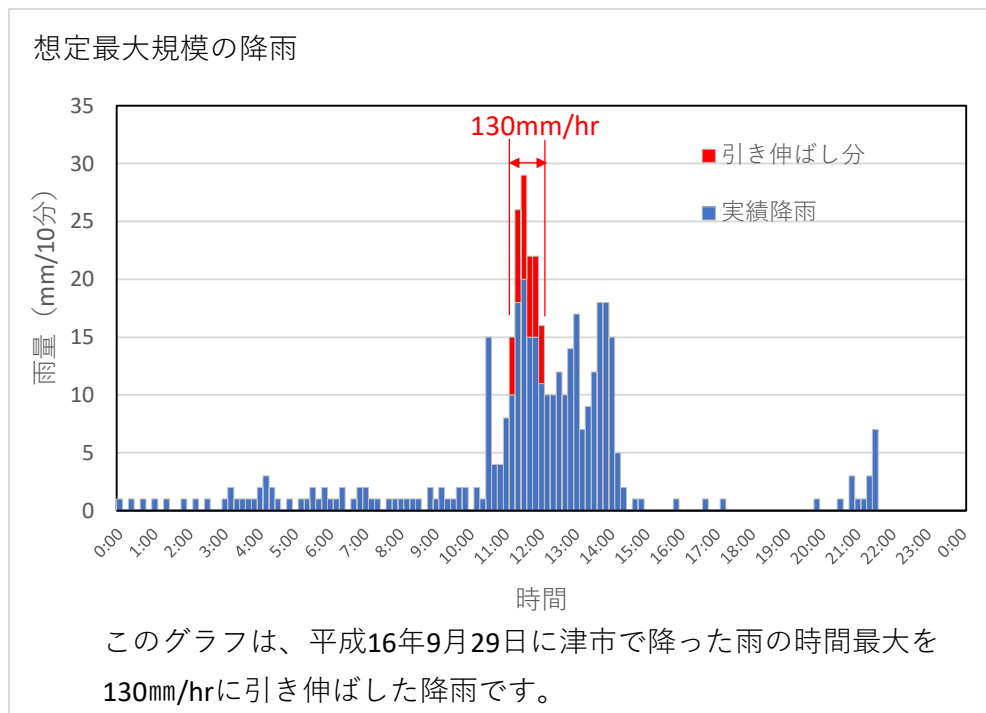
Q6 地形データは（いつ時点、何のデータか）

地形図は、三重県共有デジタル地図（2017年）を使用しております。そのため、現在（令和5年3月時点）と比較して土地利用状況などが異なる地域があります。また、浸水シミュレーションでは、国土地理院の基盤地図標高メッシュデータ（5m（約25㎡））を基に一辺が10m程度（約25㎡）の三角形メッシュを作成しています。

なお、国土地理院の基盤地図標高メッシュデータは、2009～2020年の間で実施された航空測量を基に作成されたものになります。

Q7 想定最大規模降雨の設定は

本市における既往最大降雨となった平成16年9月29日に発生した降雨波形を選定し、時間最大130mm/hrになるように引き延ばし、日総雨量404mmを想定最大規模降雨としています。概ね年超過確率1/1,000程度の降雨量を上回るものとなります。



Q 8 対象区域は

内水浸水想定区域図作成の対象区域は、平成 30 年に作成された雨水管理総合計画にて、重点対策地区として選定された排水区を中心とし、重点対策地区と排水系統が同じ排水区を対象としています。

Q 9 モデル化の対象は

概ね口径 600 mm以上の管渠、マンホール、ポンプ場・排水機場、雨水貯留施設、堰、ゲートといった下水道施設等をモデル化しています。

Q 10 河川からの溢れは

河川からの溢れは考慮しておりません。あくまでも下水道施設その他排水施設で雨水を排除できない際の浸水現象を表しております。河川からの溢れについては、洪水ハザードマップをご確認ください。

Q 11 浸水ランクの色分けは

洪水ハザードマップと同様の色分けを採用しております。
この色分けは、「水害ハザードマップ作成ガイドライン(案)」に記載されている1階床上に相当する0.5m、2階床下に相当する3m、一般的な家屋の2階が水没する5m等を目安としております。浸水ランクを0.1m以上としているのは、歩行しづらくなること、車のブレーキ性能が低下することから設定しました。

Q 12 浸水継続時間の表示

雨水出水浸水想定区域図において、長時間浸水するおそれのある場合(浸水深50cm以上が概ね24時間以上継続する場合)に表示します。自宅の2階に待避した場合に、以下のようなことが懸念されるため、表示しています。

- ・ 備蓄した水や食料がなくなる
- ・ 体調を崩した場合の対応が難しいなど

**Q 1 3 浸水継続時間で 72 時間以上浸水する着色箇所は、72 時間以上浸水する
のか**

シミュレーションモデルは、600 mm以上の管渠をモデル化しているため 600 mm未満の管渠や道路側溝などはモデル化しておりません。600 mm未満の排水施設により排水していく場合もあるため、実際はシミュレーション結果と異なる場合もあります。

Q 1 4 内水浸水想定区域図は更新するのか

土地が造成された場合や下水道整備が進捗した場合は、浸水区域や浸水深が変化します。今後、土地が広域に造成された場合や下水道整備が進捗した場合には更新する予定です。